

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-11755

(43)公開日 平成7年(1995)1月13日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
E 0 4 F 15/16		A 7416-2E		
D 0 6 N 1/00	D A A	8016-4F		
// A 4 7 G 27/02	1 0 6 Z	7137-3K		

審査請求 未請求 請求項の数3 F D (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平5-184401

(22)出願日 平成5年(1993)6月28日

(71)出願人 000133076

株式会社タジマ

東京都足立区宮城1丁目25番1号

(72)発明者 梅田 文久

東京都足立区宮城1-25-1 株式会社タ
ジマ内

(72)発明者 五味 雄一

東京都足立区宮城1-25-1 株式会社タ
ジマ内

(72)発明者 田島 栄一

東京都足立区宮城1-25-1 株式会社タ
ジマ内

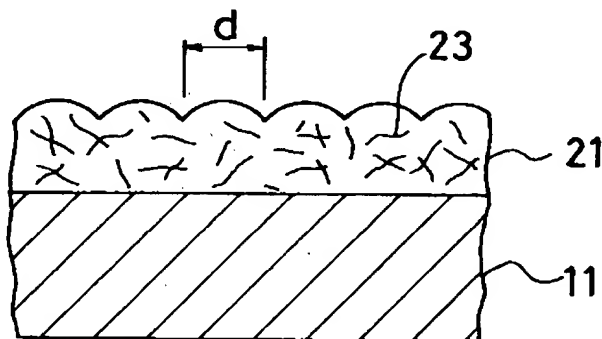
(74)代理人 弁理士 白村 文男

(54)【発明の名称】 合成樹脂製床材

(57)【要約】

【構成】 着色繊維23が分散、担持された透明ないし半透明の合成樹脂からなる厚さ1~3mm程度の表面化粧層21が、基材層11上に一体化されたカーペット調の合成樹脂製床材。表面化粧層21には、凸部の直径dが2~5mmで凹部が線状のエンボスが施されている。

【効果】 カーペット調の合成樹脂製床材を簡単に製造することができ、高級感のある床を低コストで実現でき、床の清掃、管理も容易である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 着色された繊維が透明ないし半透明の合成樹脂中に分散されてなる表面化粧層を有することを特徴とするカーペット調の合成樹脂製床材。

【請求項2】 着色された繊維集合体に透明ないし半透明の合成樹脂が含浸されてなる表面化粧層を有することを特徴とするカーペット調の合成樹脂製床材。

→【請求項3】 前記繊維集合体が不織布である請求項2に記載の合成樹脂製床材。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、床タイル、長尺床材などとして用いられるカーペット調の合成樹脂製床材に関する。

【0002】

【従来の技術】オフィスなどで用いられる床材としては、大別して、合成樹脂製の表面化粧層を有する合成樹脂製床材と、繊維パイルが植設されたカーペットタイルとがある。カーペットタイルが使用される理由は、歩行音の発生が少ない等の機能面の特徴にもあるが、一番の理由は豪華さが演出されるその外観にある。しかし一方において、カーペットタイルは、小さなゴミやホコリが溜りやすく十分な清掃が困難であり、また、価格的にも高価であるなどの問題を有している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、合成樹脂でありながらカーペット調の模様を表現しうる床材を提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明のカーペット調の合成樹脂製床材は、着色繊維が透明ないし半透明の合成樹脂中に分散されてなる表面化粧層、または、不織布等の繊維集合体に透明ないし半透明の合成樹脂が含浸されてなる表面化粧層を有することを特徴とする。

【0005】

【実施例】図1は、本発明の実施例の床材の層構成を示す断面図である。充填剤などが配合された塩化ビニル樹脂からなる基材層11の上に、表面化粧層21および表面保護層41が一体的に設けられている。

【0006】表面化粧層21は、透明ないし半透明の塩化ビニル樹脂等の合成樹脂中に着色された繊維23が分散、担持されてなり、この結果、カーペット調の模様が表現される。繊維23の分散量、長さ、太さ、色等を調整することにより、外観を調整できる。

【0007】繊維23としては、同一色に着色されたものを分散させてもよいが、異なる色に着色された複数種類の繊維23を分散させることにより、さらに意匠的效果が改善される。

【0008】繊維23としては、ナイロン、レーヨン、

ート等のポリエステル、カーボン繊維、ガラス繊維などが用いられる。繊維23の長さは0.5~1.5mm程度が好適であり、太さは5 μ ~1mm程度が好ましい。

【0009】表面保護層41は、透明ないし半透明の塩化ビニル樹脂、ポリエステル樹脂、紫外線硬化型樹脂等からなり、耐摩耗性を付与したり、表面化粧層21で形成されるカーペット調模様の立体感を向上させる。なお、図1において表面保護層41を設けることなく省略してもよい。各層の厚さは任意であるが、基材層11が1~5mm程度、表面化粧層21が1~3mm程度、表面保護層41が0.1~0.5mm程度が好適である。

10 【0010】図2は本発明の他の実施例を示し、基材層11上にペレット25を散布したのち、ペレット25を押しかためて基材層11と一体的に表面化粧層21を形成している。ペレット25は、着色繊維23を分散・担持する透明ないし半透明の合成樹脂粒子であり、合成樹脂中に繊維23を分散させて一度シート状体を作成したのち、これを粉砕ないし切断して得られる。このようなペレット25がランダムに結合して表面化粧層21を形成しているので、繊維の配向の方向性が消失しており、
20 優れた意匠効果が得られる。また、異なる色の繊維を含有する複数種のペレットや、合成樹脂が異なる色に微着色されたペレットを組み合わせて用いることにより、さらに複雑な意匠効果が得られる。

【0011】図3の実施例では、図2と同様な原料ペレット25をバインダー樹脂27で結合一体化して表面化粧層21を形成しており、バインダー樹脂27としては塩化ビニル樹脂ペーストの硬化物などが用いられる。バインダー樹脂27を微着色すれば、図2の場合とは異なった意匠効果が得られる。

30 【0012】図4の実施例では、基材層11上に、無色または微着色した塩化ビニル樹脂などのペーストを塗布し、その上に着色した繊維23を散布するか、あるいはペースト中に予め繊維を分散させたのち、これを基材に塗布したのちペーストを硬化せしめて下層29を形成し、ついで透明ないし半透明の合成樹脂からなる上層43を形成して一体化し表面化粧層21を構成している。上層43を表面保護層としても機能している。この場合も、繊維23がランダムに散布されるので繊維23の配向に方向性がなく、意匠的に良好なカーペット模様が得られる。

40 【0013】図5は、本発明の合成樹脂製床材のさらに他の実施例を示す断面図である。単色に或は複数色で規則的またはランダムに着色された不織布31に、透明ないし半透明の含浸合成樹脂33が含浸され、この含浸不織布によって形成された表面化粧層21が基材層11上に積層、一体化されている。

【0014】本発明の合成樹脂製床材は、上記以外にも種々の変形が可能であり、例えば、図2~5に示した床

3

面エンボス加工を施すことにより立体感を増したり、基材層の一部を発泡層とすることができる。

【0015】特に、表面に凹凸模様を形成することにより、カーペットに似そった外観を表現することができる。例えば、図6に示したように、凸部の直径dが2～5mmで凹部が線状のエンボスを、着色繊維23を担持した表面化粧層21に施すと、極めてカーペットに類似した外観を呈する。また、図7に示すように、ペレット（チップ）25の形状を保って、ペレット25を基材層11上に固定することによっても、図6と同様の凹凸状態を有する表面化粧層21を形成することができる。塩化ビニル樹脂ペースト等の硬化物からなるバインダー樹脂27によって、ペレット25が基材層11に固定されている。

【0016】

【発明の効果】本発明によれば、着色した繊維を利用し、これを合成樹脂中に固定して表面化粧層を形成することにより、カーペット調の合成樹脂製床材を簡単に製造することができ、高級感のある床を低コストで実現でき、床の清掃、管理も容易である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の合成樹脂製床材の実施例を示す縦断面図である。

4

【図2】本発明の合成樹脂製床材の実施例を示す縦断面図である。

【図3】本発明の合成樹脂製床材の実施例を示す縦断面図である。

【図4】本発明の合成樹脂製床材の実施例を示す縦断面図である。

【図5】本発明の合成樹脂製床材の実施例を示す縦断面図である。

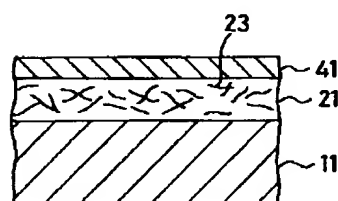
【図6】本発明の合成樹脂製床材の実施例を示す縦断面図である。

【図7】本発明の合成樹脂製床材の実施例を示す縦断面図である。

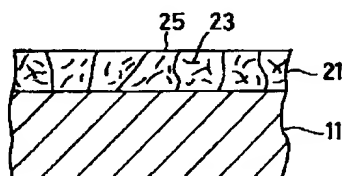
【符号の説明】

- 11 基材層
- 21 表面化粧層
- 23 繊維
- 25 ペレット
- 27 バインダー樹脂
- 29 下層
- 31 不織布
- 33 含浸合成樹脂
- 41 表面保護層
- 43 上層

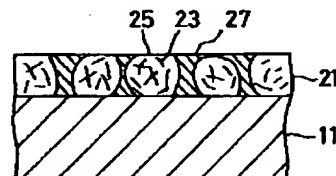
【図1】



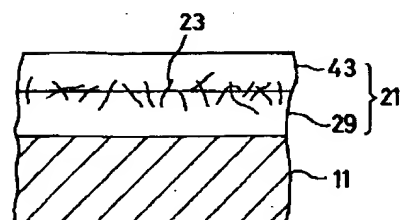
【図2】



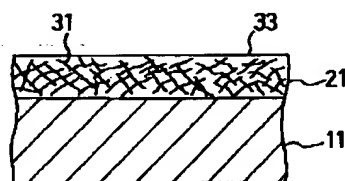
【図3】



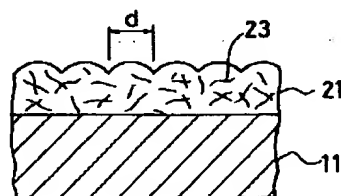
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

